

10月12日 創立記念日に向けて

創立13年目を迎え歴史を振り返り新たな未来を踏みだす

来る10月12日（金）は、創立記念日です。統合して13年目を迎える今年度、私たち全員でこの創立記念日に向けて、学校の校訓を改めて振り返り、各々自らが新しく価値ある未来を切り開く原動力にしていきたいです。



壮大なクスノキ並木。来校者の目を引きまます。 秋にはケヤキなどの大木が校舎を彩ります。

10月12日が創立記念日である理由

千葉県教育委員会再編計画にしたがって、旧茂原農業高校と旧茂原工業高校の統合が決まりました。創立の準備に向けて、当該両校の職員、生徒、保護者、関係機関、そして地域住民など、年度を越えて各方面から協議しました。

そして、統合の前年度、平成17年10月12日千葉県議会議員で構成されている文教常任委員会において、新しい高校の校名が「千葉県立茂原樟陽高等学校」と決定しました。樟陽の「樟」はクスノキと読み、正門から見えるクスノキの並木をシンボルとした壮大な景観とともに、太陽のように、周囲や地域を照らす学校を目指す意が校名には込められています。

校章の由来

樟（クスノキ）の葉の3枚が中央で合わさっています。葉の3枚は、校訓の「創る 育む 輝く」を表しています。合わさった葉の背景に、まぶしい太陽の陽光が輝いています。

クスノキは、代表的な照葉樹であり、1年中緑色を託している常緑樹です。葉には、主脈の他にはっきりとした葉脈が見られ、上昇、未来への展望を表しています。

正門、管理棟、体育館にある校章を是非見てください。



13年の沿革（歴史）を振り返ろう

平成18年度 4月 1日創立

4月 7日第1回入学式 生産技術科80名 生産流通科40名
緑地計画科40名 電子機械科80名
電気科40名 環境化学科40名

6月14日開校記念式典挙行

平成21年度 3月15日工業実習棟落成

平成22年度 完全統合

（工業科の生徒が現在の校舎に移動して、農業科と同じ校舎での学校生活が始まりました。それまでは、樟陽校舎に農業科、工業校舎に工業科の生徒が学び、行事のときだけ、工業科の生徒が移動していました。）

10月12日工業実習棟落成記念式典挙行

平成23年度 4月 1日電子機械科定員減（40名）

平成24年度 1月28日農業特別専攻科閉科式

（茂原農業高校の時代から、地域の農業の担い手を育成してきた歴史ある特別専攻科が長い歴史を閉じました。）

4月 1日生産技術科定員減（40名）

3月25日体育館耐震工事完了

平成25年度 8月31日ホームルーム棟北側耐震工事完了

平成26年度 8月31日ホームルーム棟南側耐震工事完了（残りの校舎は来年度実施）

平成27年度 記念写真集発刊 管理棟、特別棟、旧専攻科棟、畜産管理棟耐震工事

平成28年度 創立10周年記念講演（10月）

校訓を覚えよう

創る 創造の精神を表しています。生徒が知を深め、技を磨き、自ら学び、「ものづくり」に挑む姿、そして将来のよりよい自己を創造する姿を求めています。

育む 育成する精神を表しています。生徒が健やかな体と豊かな心をもって、生命の尊厳を学び、すべてのものを慈しみ、未来を切り開く姿を求めています。

輝く 輝く学校、魅力ある学校づくりに向けて、生徒が生き生きと活動し、生徒の夢が叶い、生徒・保護者・地域・教職員の誇りとなる姿を求めています。

校歌を口ずさもう 安田 侘※1 作詞 鈴木 邦彦※2 作曲

あふれる陽光 大地の恵み	きらめく星影 宇宙の神秘
集う 総の茂原に われらの母校	仰ぐ 総の中央 われらの学舎
栄えある歴史の 歩みを重ね	古人の智徳を 心に刻み
未来に受け継ぐ 流れも豊か	新たに産み出す 次代の文化
創ろう 知恵を集め	創ろう 技をみがき
育もう 愛をこめて	育もう 支え合って
輝こう 青春のこの時を	輝こう この命ある限り

※1 安田 侘：作詞家。本校の他に、幕張総合高校、成田西陵高校の校歌も手がける。

※2 鈴木邦彦：作曲家。歌謡曲の作曲も手がけてきた。千葉県知事森田健作主演のTVドラマ「おれは男だ！」の主題歌「さらば涙と言おう」の作曲もしている。